

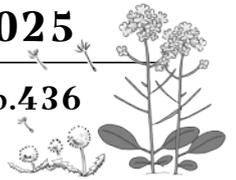
ASUKU ASK



4

2025

No.436



春はお友だちを生活クラブに誘おう♪



お友だちを紹介したあなたにもプレゼント



◀餃子(4~6月)



◀万能つゆ(7~8月)

◀お友だちには万能つゆ(4~8月)



▲イベント参加者プレゼント



近所の人にもお知らせしちゃおう♪

◀チラシまきに参加する人は希望枚数をお知らせください、配達便でお届けします。プレゼントはみかんジュース缶。



みんなで パクパクACTION(仮)



日程:6/26(木)、27日(金) 10:30~

場所:吹上ホール

※申し込みはこちらから→
※お手伝いも募集します



参加予定生産者:酒井産業、エスケー石けん、ヴィボン、和高スパイス、三河みりん、みえぎょれん販売、三重県漁連、コーミ、王隠堂農園、美濃愛農、おとうふ工房いしかわ、下津醤油、わっぱん

contents

- P1 春はお友だちを生活クラブに誘おう♪
- P2 田植え&稲刈り体験参加者募集
- P3 生活クラブでんき めざせ2万人キャンペーン
でんきの仲間をふやそう!!
- P4 尾張旭みんなの居場所プロジェクト



この機関紙は、責任ある森林管理をしている林業者を応援し、世界の森林保全貢献につながるFSC® 認証紙を使用しています。

田植え&稲刈り体験 参加者募集!

～親子で! 大人だけでも! 奮ってご参加ください!

5月25日(日) 田植え体験

集合場所: JAひまわり音羽支店 駐車場 豊川市赤坂町松本274

時 間: 10:00集合~13:00頃解散

参加条件: 小学生以上 (参加費無料) *交通費の支給はありません。



音羽米生産者(JAひまわり・音羽米研究会)と連携した「食の学校」企画です。生産者の話を聞き、作業を体験し、音羽のコメ作りの苦労やこだわりを感じてみましょう。

田んぼには日陰やトイレがありません。また、託児等お子さんの世話をするスタッフはいませんのでご注意ください。

《当日の持ち物》

田植えのあとで、音羽米の試食があります。マイ箸マイカップをご持参ください。

田んぼに入りますので、汚れてもよい服装でお越しください(着替え持参も可)。

*詳しくは配布されるしおりをご覧ください

9/21に稲刈り体験もあります。
実った稲を自分で収穫!
稲刈り体験も
ぜひ参加しましょう。

NON-GMO看板のお披露目も!

遺伝子組み換え作物を作らない生産者と、食べない消費者を増やしていくためにGMOフリーゾーン運動にも取り組んでいます。その運動の一環として、2010年に音羽米の圃場に、GMOフリーゾーン看板を設置しました。看板の退色が目立って

きたため、昨年12月よりカンパ活動に取り組み、修繕を実施! そのお披露目会も行います♪



▲こちらは修繕前の看板

参加申し込みはこちらから

☆「参加のしおり」
をお送りします。



【問合せ先】

TEL: **052-899-0770**
(本部: 小出)

これ
誰かに伝えたい!



消費材 こぼれ話

ロールペーパー・シングルソフト

実は経済的!

価格だけを見ると市販品より高く感じますが、紙の厚さが1.2倍ほどあることに加え、1巻の長さが100mあるため(一般的には60m)、驚くほど長持ちします。交換頻度が減るため結果的にとてもお得です。厚みがあって丈夫なのでトイレ以外にも使用でき、そのためロールペーパーという名前になっています。

漂白剤や合成界面活性剤を使用していないので、お肌の弱い方も安

心して使えます。日本全国の病院でも採用されています。

古紙は町の森林資源

ロールペーパーは100%再生紙使用です。古紙の再利用は森林資源を守ります。さて、立木1本は古紙何kgに相当するのでしょうか? 答えはロールペーパーの包材に書いてあります。じっくり読んで答えを探してみてくださいね。



トピックス

炊き出し訓練

「あったかごはん食堂」1/26

生活クラブと県内4つの生協、防災減災活動をしているNPO法人が名古屋センターに集合、炊き出し訓練をしました。当日のメニューはポトフとコーンご飯。チラシを見て参加した地域の人約100人、カフェコーナーや健康チェックを楽しみ、災害時のトイレの大切さを学習しました。



▲愛知県内5つの生協が集まりました♪



生活クラブ
でんき

めざせ2万人キャンペーン

でんきの仲間をふやそう!!

自然エネルギーは地域の資源

再生可能エネルギーは、太陽光・風力・水力・バイオマスを利用して発電します。その原料は、各地域に自然に存在するエネルギーです。産地も明らかで廃棄物もほとんど出ません。

一方、原発は核燃料を、火力発電所は石炭や石油などを原料にしますが、ほとんどを海外からの輸入に頼っています。そして厄介なことに発電した後は核廃棄物や地球過熱化の原因といわれる二酸化炭素を排出し、その土地に大きな負の資源を残します。

生活クラブでんきの契約者は愛知で440件、生活クラブ全体では約18800件です。「もっとたくさんの組合員に生活クラブでんきを利用してほしい」という思いで、今年度中に生活クラブでんき契約者2万人達成!という目標をたてました。

愛知では新たに106件の仲間をふやしたいと計画しています。講演会や省エネ再エネに関するイベント・交流会を企画します。もっと身近にエネルギーのこと、話してみませんか。

生活クラブでんきで省エネを!

私たちの生活に欠かせない電気の契約先を変えるだけで、我慢しなくても省エネに貢献できます。

申し込みは書類でもWebでも簡単に手続き完了。電気料金の支払い先が変わるだけで、今までどおり何も変わりませんよ~

愛知の地産地消エネルギーは音羽から

音羽のお米を食べて応援する、予約して食べる、産地を訪れて田植えや稲刈りの体験をすることで、私たちは「食」を通じて音羽とつながっています。

また、音羽では田んぼの畔に設置された太陽光パネルで一年を通して発電をおこない、その電気は生活クラブエナジーに売電されます。私たちは生活クラブでんきを契約することで「エネルギー」を通じて音羽地区とつながることができます。電気も大切な生活クラブの消費材なのです。

キャンペーン統一プレゼント 6/1~8/31に契約した組合員

抽選で当たるプレゼント

- ①ポータブル太陽光パネル(10人)
「Jackery Solar Generator 240 New 40Mini ポータブル電源ソーラーパネル」
- ②「生活クラブでんき」生産者を訪ねるツアー(観光含む)

- ▶Aコース(10人) 北海道(阿寒マイクログリッドなど)11/1~11/3の2泊3日
- ▶Bコース(10人) 福島(飯館電力・会津電力など) 10~11月の土日の1泊2日

全員にプレゼント

- ①音羽米 2kg
プレゼント品が変更になる可能性があります。
- ②株生活クラブエナジーのフリーダイヤル入りマグネット



先日、移住先の小学校にて初めての学習発表会がありました。テーマは「森と共に生きる」▼子どもたちは、地域の森林組合や森林ボランティアのみなさんと共に、森の間伐体験の様子や製材所見学の様子を話してくれました。自分たちの住む地域をより良くするため、10年先、20年先を見据えてそれぞれが考えた発表に胸を打たれました。地域で学ぶ、地域を考える。これが「生きた学び」なのだと感じました▼身近な課題に対して真剣に取り組む姿勢は、きつとこの先の未来を明るくしてくれるのでしょうか。この学びが、地域の未来を少しずつ形作っていくのだと思います▼子どもたちの成長が、地域の希望へとつながっていくことを願っています。

(理事 熊本 ゆづ子)

花縁便

2月事業報告

組合員数	加入	脱退
11,123人	68人	-75人
出資金	1人当り出資金	
1,349,410 千円	121,317 円	
供給高	1人当り供給高	
221,129 千円	20,887 円	

▼共済加入件数

ハグくみ	CO・OP共済	エコロ共済
1,321 件	4,801 件	8,629 件

生活クラブでんき契約者

累計445件(2月)
再エネ100%プラン 24件
時間帯別プラン 14件

今月のリユース率

ビン 回収率(2月)
900mlびん...81.2%
500mlびん...77.0%
Rびん全体 ...77.7%



生活クラブ
でんき

グリーン
システム
30th
Reuse &
Recycle



尾張旭みんなの居場所プロジェクト

生活クラブ愛知では、地域のたすけあいや支え合いの場であり、豊かな地域づくりにつながる交流拠点として尾張旭センターの横に「生活クラブ館」の開設をめざしています。

尾張旭生活クラブ館 基本構想

生活クラブ館でどんな機能を生み出したいのか、どんな場になることが地域にとって必要なのか、といった話し合いが有識者3名を含む13名で議論され、「尾張旭生活クラブ館基本構想」が決定しました。10月に報告会が行われ、そのあと3回の具体化に向けたプロジェクトを重ねました。

有識者と地域の人を 交えて

第1回目には、生活クラブ館に関わろうと思う組合員や地域の人に参加を呼びかけ、「将来どんなまちにしたいか」「それぞれがやってみたいこと」「気になる地域の課題」を話し合いました。

第2回目は、地域で活動している人や団体について、全国の生活クラブの居場所の事例や岡崎ひだまり館の居場所について、参加者が発表し共有しました。そして、この具体化プロジェクト名を「尾張旭みんなの居場所プロジェクト」と決定しました。

第3回目では他地域での活動や居場所づくりの事例紹介がありました。

連続講座開催します！

地域の人と出会い学ぶ場を設けるため連続講座を決定しました。2025年度は4月から6月に連続講座を開催します。

尾張旭の生活クラブ館に関わりたい人はもちろん、自分の地域でも何かしたい、つながりたい！という方の参加もお待ちしています。

連続講座参加申込

4月23日(水)

5月19日(月)

6月23日(月)



【問合せ先】

TEL: **052-899-0770**
(本部・福祉たすけあい推進課)



information

●総代会議案書読み合わせ

5/26(月) 名古屋センター

5/28(水) 尾張旭センター

5/28(水) 豊田センター

5/30(金) 豊橋センター

●総代会

6/11(水)

緑文化小劇場

担当:本部(井手)052-899-0770



理事会報告

第9回定例理事会報告

2/20出席理事11名

◆討議・討議決定事項

・「ガバナンス基本方針」「役職員の行動規範」、「役職員のソーシャルメディア利用に関する規定」他「必要な規程・方針」制定

・2025年度 環境と暮らしを豊かにする活動の実行方針

・エンディングサポート事業に向けた2025年度取組み他

◆報告承認・報告確認事項

・エコワン株式会社の単協独自品取組みの再開他

編集後記

●春は新しい出会いの季節。みなさんに素敵なめぐりあいがありますように!(N)

●娘の友達が遊びに来て夕食を一緒に食べる。アレルギーのある子に添加物なしの安心な食事を自信を持って出せるのが嬉しい(寵)

●このASKが届く頃は桜が満開になっているのだろうか。節分過ぎの底冷えの日々、人も樹も耐えて春の陽射しを待つ。(祥)

